

ふくおか県芸術文化祭2026第34回短歌大会

日時 2026年10月25日(日) 12:30~17:00
会場 福岡朝日ビル地下1階
日程 12:30 開会
主催者、来賓、講師紹介
主催者挨拶
13:00 特別賞表彰
13:20 歌集賞表彰 講評 桜川冴子
14:00 選歌講評
選者 松村由利子 桜川冴子 山下翔
植村隆雄 西城燐子 内藤賢司
(休憩)
15:15 講演 松村由利子氏「子どもをうたう 老いをうたう
——少子高齢社会を見つめて——」
16:30 閉会



松村由利子 (まつむらゆりこ)氏プロフィール

1960年 福岡市生まれ
1990年 「かりん」入会
1994年 「白木蓮の卵」30首で短歌研究新人賞受賞
2006年 歌集『鳥女』刊行(現代短歌新人賞受賞)
2009年 評論集『与謝野晶子』刊行(平塚らいてう賞受賞) 「遠き鯨影」30首で短歌研究賞受賞
2010年 エッセイ集『31文字のなかの科学』で科学ジャーナリスト賞受賞
2011年 歌集『大女伝説』で葛原妙子賞受賞
2020年 歌集『光のアラバスク』で若山牧水賞受賞
2023年 評論集『ジャーナリスト与謝野晶子』で日本歌人クラブ評論賞受賞
現在 「かりん」編集委員。
著書 エッセイ集『少年少女のための文学全集があったころ』、『科学をうたう』のほか、『はじまりはたき火』『お月さまいつもありがとう』など絵本の創作や翻訳の仕事も。

今回の講演と関連する子育ての歌3首

愛それは閉まる間際の保育所へ腕を広げて駆けだすところ
三歳の「世界で一番大好き」をわが盾として職場に向かえ
抱かれないときの不在を責めるごと子は前頭葉を押しつけてくる
——『薄荷色の朝に』より——

令和7年度短歌大会の特別賞の主な作品

【福岡県知事賞】	驟雨来てのちに晴れたる空をゆく雲と氷河期時代のわれら	福岡市	柴田 香
【ふくおか県芸術文化祭実行委員会会長賞】	パリパリの餃子の羽が出来たよとあなたに見せたい独りの夕餉	福岡市	堺 多鶴
【福岡県ねんりんスポーツ・文化祭大会会長賞】	リタイアをしてから最早十余年軀の痣を撫でて酒酌む	糟屋郡	末松博明
【福岡県教育委員会賞】	十本の長いローソク吹き消して百年間をかつとばす母	宗像市	中村仁彦
【福岡県文化団体連合会会長賞】	手を振れば皆いっせいに手を振りぬ叔母を見舞いて帰るホームに	宮若市	中尾保江
【福岡県短歌大会実行委員会賞】	高ければ無ければ食べるまよはずに古米古古米 ^ゑ 餅と言はれても	春日市	小山純子
【春日市長賞】	母という文字あと何度書けるかと思いつつ書く祝儀袋に	直方市	渡邊和子
【春日市教育委員会賞】	花冷えのトラックリフトに箆 ^{へら} 載せ五十余年の日々を見送る	田川郡	平嶋佐智子
【福岡文化連盟賞】	大勢の客降りたればかたかたと電車はゆるる喜びのごと	北九州市	奥 睦美

福岡県歌人会歌集賞の募集

概 要

福岡県歌人会では令和4年度より、短歌を愛好する福岡県内の歌人の皆様へ身近な目標を提示し、作歌意欲を引き出し、自己の作品を歌集として世に問うことを奨励するため、福岡県歌人会歌集賞を創設しました。

前年度に出版された応募歌集を、桜川冴子氏、山下翔氏等5人の選者がすべて読んだうえで選考会を行い、原則として優秀歌集と優良歌集を一冊ずつ選定します。表彰式は短歌大会の時に行い、選定理由も公表します。賞金は優秀歌集賞3万円、優良歌集賞2万円です。

応募方法は下記の通りですので、これを機会にこれまで詠んでこられた短歌をおまとめになり、歌集を出版されるようお勧めします。

第5回歌集賞応募受付中

応募方法	福岡県歌人会歌集賞事務局に、歌集6部と申込書を送付してください。
対 象	福岡県在住の福岡県歌人会会員の歌集
対象期間	令和8年4月から令和9年3月までの刊行
応募締切	令和9年4月末日
連絡先	福岡県歌人会歌集賞事務局 古賀 燿子（090-1513-9325）

令和8年度の歌集賞選考委員

桜川冴子氏 山下翔氏、植村隆雄、中村仁彦 松本千恵乃

これまでの福岡県歌人会歌集賞受賞作品

令和4年度		
優秀賞	『ボトルシップ』	有川知津子氏
優良賞	『水色の傘は買はない』	池田 玲 氏
令和5年度		
優秀賞	『風師』	五所 美子氏
優良賞	『あなた誰』	間 千都子氏
	『左肩がしづかに』	祐徳美恵子氏
令和6年度		
優秀賞	『霧のメロディア』	松本千恵乃氏
優良賞	『ゆうすげ色の月』	江森 節子氏

メモ欄